

ハイテク品とチマチヨゴリ。 チャイナドレスは似合う?

本年もUSツアーを満喫することになった。将来償還できないかもしれない国債をガンガン発行しながら、外国人に国債の半分を買っていただいている米国よりもマシだと余裕をカマシている豊かな国家があり、豊かな農政がある。その予算配分で交付金がもらえ、農業経営基盤強化準備金制度のおかげで、正々堂々と節税できるのだ、ありがたい。

私が1月下旬にLAに行き、1年間の労働のご褒美としてサザン・カリフォルニアの青い空から降り注ぐ暖かい空気を全身で受け止め、冬の間に、少し白くなった肌が焼けるのを心配しながら、化粧入れにはしっかりと50歳を過ぎたデリート肌用のSPF25のクリームを持参した。

毎年行くUSツアーは東京で所要を済ませ、バスで成田に着いた時から米国モードになる。まず、知人のお土産は何にすべきかで悩むのである。過去の経験から判断すると日本人、日系人にはジャパニーズ系と云うか日本文化そのものである、浪花節、藤田まこと主演『はぐれ刑事純情派』などドラマのDVDが、米国人には着物・扇子はあきらまれたので、最近ではハイテク系がウケるようだ。

なかでもヤンキーシニア(ご老人)へは肩や首に張る低周波マッサーJ・エレパレスF127が大人気で、毎回、補修部品数セットと新品を持参する。ということテルモさん、ご遠慮なさらず『農業経営者』の**広告ページ**で宣伝してくださいね。

利用する飛行機会社はマイルをセコセコと貯めるために、いつも同じ航空会社を利用する。昨年は貯まったマイルと数千円で上級シートを使い、今回は知り合いの夫妻が働く旅行代理店からあの手この手で格安の上級シートを購入した。

LA到着後は数件の知り合いの家に居候をして、米国を満喫することになる。30年以上の付き合いになるLAサード・ストリートの『愛』美容室にたむろしていると、北方向100m位のところにバイクに乗ったLAPD(ロス市警のお巡りさん)が2人いるのが見えた。ただポケーとしているだけで1時間くらいたってもそのままだったので、美容室の人に聞いてみると「映画の撮影よ」と

生まれながらに 勝ち組に近づくには……

Vol.40



宮井 能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

Illustration by Kazushige Akita

言われたので、その現場に見に行くことにした。撮影現場ではカリフォルニアの暖かい太陽が降り注いでいるのに、ガンガン照明が使われ、女優と男優が演技を確認し合っていた。さすがハリウッドの街だと思っただ。地元警察が映画産業に協力して、通行人はいつものことかのように、何も気にもしないでスーと通り過ぎて行き、私は完璧お上り気分になり15分くらいその

オレにも 言わせる!

北海道長沼発 ヒール宮井の憎まれ口通信

場にいたが、ついでハリウッドからお声がかかることはなく、声をかけてくるのは私とLAPDを通り過ぎる時、「1ドル恵んでくれ」と言うホームレスだけだった。

このサード・ストリートにある美容室の人たちと南カリフォルニア美容大会を見に行った。

日本からも若い美容師やその関係者らしき人たちが、真剣なまなざしで新しい技術や商品、デザインを見入っていたのが印象的だった。この4年くらいは毎回参加している行事になってしまったが、やはり美しいものを見ると言うことは心休まるものである。特に金髪・ブルーアイに微笑みかけられたら、鼻の下がダラーと長くなり、あく生きていてよかったーと心から思う自分は、決してウソつき野郎ではない典型的メイト・バイ・ジャパニーズ・オヤジであると自覚する。残念なのは昨年の大会に多くいたイケメンボーイが今年の会場では見られなかったことだ。さぞかし淋しがっている、その手のボーイがたくさんいたことだろうと考えると、やはりこの国のマイノリティーが活躍する場が明確に存在する開かれた社会? からは日本の将来について多くを学ぶことになるのだろう。この会場には美容に関するハサミ、化粧品、器具が

展示されているが、地元米国、ヨーロッパ、中国製、韓国製も多くあるが、やはりメイト・バイ・ジャパニーズの評判はいいようだ。

ただちよつと違和感を覚える場面に出くわした。出展している中国や韓国の会社なのに、日本文化を多少パクっている会社が見られたのだ。米国人の誰でも知っている日本の歴史的文化の象徴に着物があつて、その一方で米国人も魅了するメイト・バイ・ジャパニーズのハイテク商品も存在するが、今ではその異なるであろう二つの文化が陳列させていても、カリフォルニアではまったく違和感がない。しかし中国のチャイナドレスとメイト・バイ・チャイニーズのハイテク、韓国のチマチヨゴリとメイト・バイ・コリアンのハイテクでは残念ながら米国人にはまだピンと来ないので、一部のチャイニーズとコリアンはアジアの同胞の繁栄する文化、つまり日本の着物っぽいデザインの商品をパクって陳列していた。でもどうだろうか? 中国、韓国が日本と同列の文化圏に仕立てる作戦は賢いと言えるのだろうか。それとももつとすごいのは六本木で「ハロー♡」とアフリカン・イングリッシュで声をかけるナイジェリア人が米国人に化けることが許される日本の多様性は素晴らしいのだろうか。

産むが易しの 米国籍取得方法

その後はサンディエゴ方面まで足をのばしてみた。米国でのフライトは年に一度なので、セイフティーとしてパク教官と操縦訓練生2人が乗り込んだ。パク教官は5年ほど前に家族と共に米国に移り住み、子供も生まれたが、心配事があると云っていた。米国生まれなので出生時に米国籍を取得できるが、韓国の法律が2年ほど前に変わり、今までは韓国籍と外国籍を持った多重国籍者は祖国韓国の徴兵時に外国籍があると云う理由で徴兵免除制度があつたそうだ。しかし現在では同じ多重国籍のものが、将来徴兵の年齢に達しているのに拒否した場合は韓国籍がなくなる法律ができたそうだ。国家の主張としては当然であるが、韓国の徴兵に依れば米国の国籍がなくなる場合があり、韓国の徴兵に依れば実際生まれながら住んでいない韓国の国籍をなくすかもしれない若きコリアンは判断に悩むことになるだろう。

ところでなぜ日本人の両親は**米**国に行き子供を出産しないのだろうか。このように米国で子供だけを出産して帰国することを「遠征出産」と呼ぶそうだ。もしかして口

1マ帝国が東方遠征に向かい破竹の勢いで各地を制覇して、現地の住民が殺されるくらいだったら、覇権者ローマ帝国の市民権を取りたかったことから由来しているのかもしれないね。自分の子供たちが米国籍を持つていて想像してみてもいい。本人や両親に損なことでしょうか? いいえ決してそんなことはありません。米国はベトナム戦争から撤退後、派兵してくれた韓国軍の家族を優先的に米国に移民として迎えました。そして現在では韓国本土から妊婦がやってきて、年間1万人を超える子供が米国で生まれている事実は、韓国と米国の将来のつながりを強固なものにするでしょう。しかし今の日本で、何人の子供が遠征出産をして米国で生まれているのでしょうか。そんな必要はない?

家が貧しくても、容姿がどうであれ、**高学歴で原子力を学んでも**、実社会ではいざという時に「?」マークが付き、そんなことはチャラにできて家庭ではお父さんは立派な人だと言える日本は素晴らしいことなのでしよう。

ただ、これからは英語の成績は良くてもだめ。やっぱり本場モンの金髪・ブルーアイを口説くには本場モンのイングリッシュと勝ち組の論理を幼い時から学ばせよう。